

第49期 ビジネスレポート

2024年7月1日▶2025年6月30日

株主の皆さまへ	1
連結決算ハイライト	2
セグメント別業績	2

特集

「ユビテック 新3か年計画」	3
株式情報	5
会社情報	5

株主の皆さまへ



代表取締役社長 池田 学

■新経営体制への移行

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第49回定時株主総会において取締役役に選任され、その後の取締役会において代表取締役社長に就任いたしました。新経営体制のもと、企業価値向上に努め、より競争力のある企業へ成長させることで株主の皆さまのご期待にお応えできるよう誠心誠意努めてまいります。当社を取り巻く経営環境は大変厳しいものと認識しておりますが、培ってきた専門的技術をベースに、社会環境の変化にチャンスを見出し、お客さまのニーズを確実にとらえたサービスを拡大させることで業績の改善を図ってまいります。

■前中期経営計画「ユビテック4.0」の振り返りと前期業績

2025年6月期までの中期経営計画「ユビテック4.0」では、ハードウェア中心の提供モデルから自社SaaSへと重心を移し、「D-Drive」「Work Mate」「カーシェア」の三領域に経営資源を集中しました。品質保証とセキュリティの体制を再構築し、データ利活用に長けた人財育成を進めることでクラウドデータを効果的に活用する機能の継続的なブラッシュアップを図り、初期導入から運用定着・改善まで、サービスの価値を高める取り組みを推進してきました。

2025年6月期の業績につきましては、売上高1,235百万円（前年同期比21.6%増加）、営業損失167百万円（前年同期は同損失245百万円）、経常損失166百万円（前年同期は同損失244百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失493百万円（前年同期は同損失344百万円）となりました。2021年6月期以降、5期連続の営業損失を計上し、株主の皆さまには大変なご心配をお掛けしていることを深くお詫び申し上げます。収益化のスピードには課題が残る一方で、SaaSモデルへの移行と営業パートナーとの連携強化は着実に進展しており、「D-Drive」および「Work Mate」の導入社数は大きく伸長し、業績も改善しつつあります。

■事業環境の変化-「安全・法令遵守・効率化」への社会要請

白ナンバー事業者におけるアルコールチェックの義務化や、本年6月の気候変動を背景とした熱中症対策の義務化など、現場の安全と健康に関する社会的要請は年々高まっています。企業は法令遵守とリスクマネジメントを避けて通れず、人的資本を守る取り組みは経営の最重要課題の一つとなっています。当社は、これらの変化を単なる規制への対応としてではなく、社会課題を技術と運用の力で解決する好機ととらえています。私たちの技術と現場オペレーションを有機的に結び付け、早期の兆候をとらえて行動変容を促す仕組みを根付かせることで、お客さまの「安全・法令遵守・効率化」を同時に実現してまいります。

■新3か年計画

2025年8月に公表した新3か年計画を指針として、自社SaaSの成長期へと確実に進めてまいります。「D-Drive」を基幹事業として確立し、インターロックシステムの拡販を軸に、運行管理・運転日報・健康データまでを連携させた安全運転管理のプラットフォームサービスへと発展させていきます。次に「Work Mate」の安定成長を図ります。予兆検知アルゴリズムの精度向上を継続するとともに検知項目も増加させ、さまざまな労災事故の未然予防を実現します。さらに、自社サービスに蓄積されるデータを起点に、安全と快適を両立する新たな価値を創出しソリューションの拡充を進めてまいります。同時に、品質管理とセキュリティ対策を一段と高度化し、

信頼性・永続性・安全性を高水準で維持する運営を徹底します。最後に、現場ニーズ、データサイエンス、プロダクトマネジメントを融合した強力な組織づくりを推進し、多様な専門性を持つ人材が協働することで実行力を高めてまいります。これらを一つ一つ着実に実施し、新3か年計画の最終年度である2028年6月期は、売上高1,657百万円、営業利益220百万円の達成を目指します。

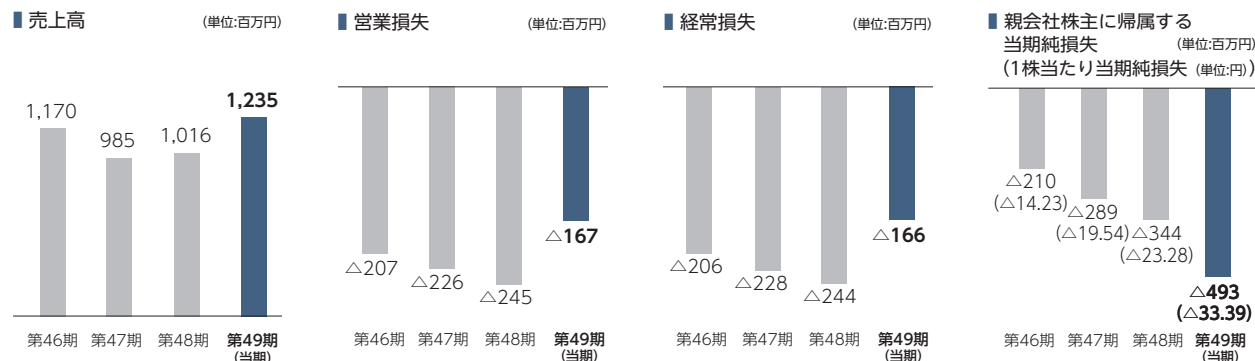
■サステナビリティ基本方針の進捗

当社およびユビテックソリューションズでは、2023年6月にサステナビリティ基本方針を策定し、課題解決と目標達成に向けた各種取り組みを推進しています。企業理念である「人

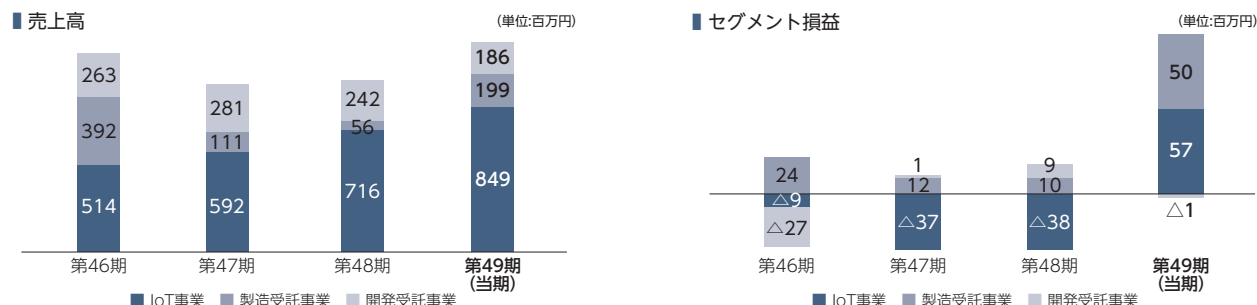
と社会に安全と快適を」のもと、「お客さまの健康と安全を守る」「社会変革と多様性に応じた最適な答えを導き出す」ことをお客さまへの提供価値と定めています。お客さまの安全の共創パートナーとなり、事業活動を通じて安全と健康の実現を支援し続けることで、サステナブルな企業経営の実現と社会の発展に貢献してまいります。

株主の皆さまのご期待に応えるべく、着実に成果を積み重ねてまいります。何卒、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



セグメント別業績



※セグメント損益は、各事業に帰属しない全社費用（主に一般管理費）を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

ユビテック 新3か年計画

このたび、当社は、2026年6月期から2028年6月期までの「ユビテック 新3か年計画」を策定いたしました。

▶ 対処すべき課題

新3か年計画においては、前中期経営計画を振り返り、以下の項目を優先的に対処すべき課題として認識しており、目標を実現するため課題解決を着実に進めてまいります。

- ① 企業ニーズと法対応の実態に即したサービス設計
- ② 営業パートナーシップの強化
- ③ 蓄積データの活用による事業ポートフォリオの拡大
- ④ サービス拡大に応じた品質管理、サポート体制、セキュリティ対策の強化

▶ 長期ビジョン

当社は、「人と社会に安全と快適を」を企業理念のもと、「お客さまの健康と安全を守る」「社会変革と多様性に応じた最適な答えを導き出す」を提供価値として事業活動を展開しております。

新たに2035年6月期における当社のありたい姿として、「リスクをとらえ、備えは先に」～未然予防×スマートオペレーションで安全の共創パートナーへ～という長期ビジョンを定めました。超高齢化と労働力不足が深刻化する社会において、IoTとAI・データ活用技術を生かしたサービスの提供によって、特に死亡リスクの高い労働中の事故を未然予防し、企業と労働者の「安全・健康」「法令遵守・レギュレーション強化」を図るものです。

さらに、継続的なモニタリングとフィードバックループによるスマートオペレーションの提供により、「業務効率化」を実現し、社会課題解決と企業の持続的成長を支援してまいります。

2035年6月期
ありたい姿

「リスクをとらえ、備えは先に」

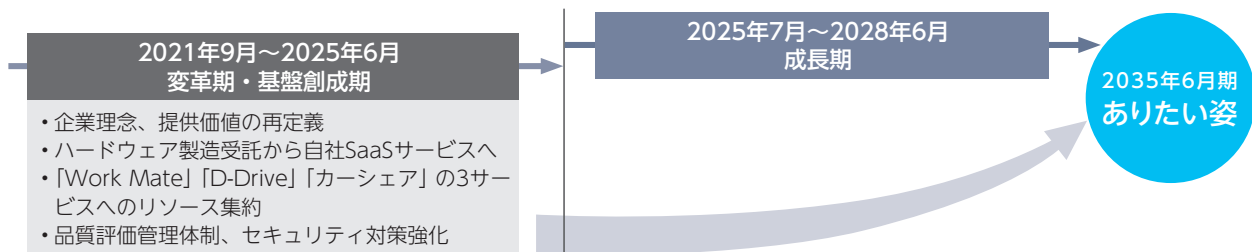
未然予防×スマートオペレーションで安全の共創パートナーへ



▶ 新3か年計画の基本方針

この長期ビジョン実現のマイルストーンとして、2026年6月期から2028年6月期までの「ユビテック 新3か年計画」を策定し、新3か年計画を自社SaaSサービス成長期と位置づけ、以下の基本方針を定めました。

- ① インターロックシステムの早期拡販による、D-Driveの基幹事業への成長
- ② 社会ニーズに即した、Work Mateの安定成長
- ③ 自社サービス蓄積データの活用による、第3軸の創出
- ④ サービス信頼性・永続性・安全性の確保を目的とした品質管理向上とセキュリティ対策高度化
- ⑤ D&I推進と社員の発想機会創出、エンゲージメント向上



▶ 目標とする経営指標

新3か年計画では、以下の経営指標を目標に定めました。

- ① 2026年6月期での営業利益黒字化、2027年6月期での営業キャッシュフロープラス
- ② 2028年6月期での売上高1,657百万円、営業利益220百万円の達成
- ③ 早期復配実現と、従来配当水準への回復

	売上高	ARR※	ARR成長率	ARR 対売上比	限界利益	営業利益
2028年6月期	1,657 百万円	661 百万円	+19.5 %	39.9 %	1,118 百万円	220 百万円
2027年6月期	1,426 百万円	554 百万円	+35.1 %	38.8 %	995 百万円	103 百万円
2026年6月期	1,418 百万円	410 百万円	+81.5 %	28.9 %	918 百万円	46 百万円
2025年6月期	1,235 百万円	225 百万円	+146.9 %	18.3 %	788 百万円	▲ 167 百万円

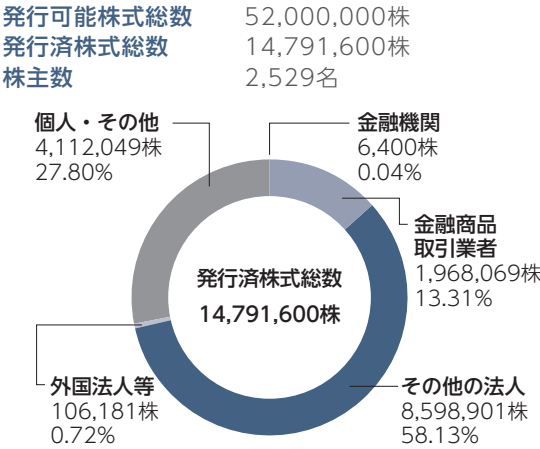
※ARR (Annual Recurring Revenue)・・・SaaSサービスの売上のうち、初期費用を除いた年間サービス料 (年間経常収益)

株式情報 (2025年6月30日現在)

■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
オリックス(株)	8,527,200	57.64
糸谷 輝夫	580,800	3.92
GMOクリック証券(株)	503,400	3.40
東海東京証券(株)	435,500	2.94
(株)DMM.com証券	416,600	2.81
(株)SBI証券	416,063	2.81
後和 信英	252,200	1.70
綾部 利華	214,100	1.44
叶 毓菁	194,500	1.31
市嶋 朋子	150,000	1.01

■ 株式の状況



会社情報

■ 会社概要 (2025年6月30日現在)

商 号	株式会社ユビテック Ubiteq,INC.
設 立	1977年11月17日
所 在 地	〒106-0047 東京都港区南麻布三丁目20番1号 Daiwa麻布テラス
資 本 金	941百万円
金融商品取引所	東京証券取引所 (スタンダード)
会 計 監 査 人	普賢監査法人
証 券 コ ー ド	6662
従 業 員 数	81名 (連結)
連 結 子 会 社	株式会社ユビテックソリューションズ

■ 役員 (2025年9月25日現在)

代 表 取 締 役	池田 学
常 勤 取 締 役	萩原 英樹
常 勤 取 締 役	羽鳥 敦久
社 外 取 締 役	中澤 仁
社 外 取 締 役	早野 順一郎
取 締 役	佐藤 厚範
取 締 役	内藤 進
常 勤 監 査 役	相田 佳隆
社 外 監 査 役	大月 将幸
社 外 監 査 役	井上 智英子

■ 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日までの1年間
基準日	定時株主総会、期末配当 毎年6月30日 中間配当 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月下旬
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 TEL.0120-232-711（通話料無料）
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
公告方法	電子公告（ https://www.ubiteq.co.jp ） ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

